

ま え が き

令和6年度は、訪日外国人の数が3,600万人を超え過去最多となりました。それに伴い外国人登山者も増加しており、登山情報の周知や外国語対応など様々な課題が浮彫りになっております。

また、全国的に気温の高い日が続き、過去最高の記録を更新し、雪渓の早期消失や高山での熱中症等、従来無かった新たな課題も出現してきました。

外国人も含め、登山者が増加傾向にあり、それに伴うように遭難事故件数も増加していることは、報道等でも視聴することが多かったと思います。改めて安全登山に関する啓発や指導者の養成について、一層貢献する必要性を感じております。

そのような中、国立登山研修所においても、第5期中期計画期間2年目となり、山岳関係機関等とのさらなる協力連携体制の構築、調査研究事業の充実、情報発信の促進など、鋭意多くの専門家の皆様からご意見をいただきながら進めているところです。

また、本年度より、老朽化対策や長寿命化、機能強化を目的とした改修計画に基づき、屋外ロッククライミング施設や屋内トレーニング室の改修工事が始まりました。一部利用制限等、利用される皆様には御迷惑をお掛けすることになりますが、御理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、「登山研修vol.40」では、登山界の現状や課題に向き合った記事や、とりわけ多数の登攀実績のありました海外登山記録では、その素晴らしい成果を御寄稿いただきました。

より多くの皆様にお読みいただくことを期待すると同時に、安全な登山の普及・発展に繋がることを祈念いたします。

末筆になりましたが、御多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

令和7年3月

国立登山研修所長 米 山 隆